

創業計画書

茨城県信用保証協会 御中

令和
西暦

X 年 XX 月 XX 日

(どちらかに○印を付けてください)

〔申込人〕

スタートアップ創出促進保証制度の申込みにあたり、以下のとおり創業計画書を提出いたします。

住 所 水戸市桜川△丁目○○－××

会 社 名

氏名または
代表者名 ●●●●

【同意事項】

スタートアップ創出促進保証制度を利用するにあたり、貴協会が以下に掲げる当社※の情報を、以下に掲げる利用目的のために、経済産業省に対して提供することについて同意いたします。
また、原則として、創業者が会社を設立して3年目、5年目に、中小企業活性化協議会が実施するガバナンス体制の整備に関するチェックを受けることについて同意いたします。

※会社設立前の創業者が個人で申込む場合や、分社化を計画している親会社が申込む場合は、当該情報は情報提供の対象外のため情報提供いたしません。

1.提供する情報	中小企業者の商号、所在地、資本金、会社設立日、申込金融機関、保証申込金額、保証承諾日、保証承諾金額
2.提供先における利用目的	政策効果の検証

【確認状況記載欄】

本計画書が申込人の意思に基づいて正しく記載されていること及び情報提供の同意について次の通り確認しております。

確認年月日	確認時間	確認方法(該当する番号にチェック)	金融機関本支店名・確認者
令和 年XX月XX日	YY時YY分	☐ 電話 ☒ 2来店面談 ☐ 3訪問面談 ☐ 4その他()	△△銀行 □□支店 ●●

1. 事業概要

会 社 名 (予定含む)	(株)●●●●				
開業(予定)住所	水戸市笠原町××－×× 電話 090(○○○○)××××				
設 立 登 記(法人)	有 ・ ☒ 無		設立(予定)年月日	☒ 令和 西暦 年 XX 月 (予定)	
業 種	美容業		資 本 金	〔会社設立予定を含む〕 3,000,000 円	
許 可 等 [許可等取得が必要な場合]	(種類)	(根拠法)	[取得すべき許可等の根拠法を記入((例)食品衛生法)]		
従業員数	1 名	取扱品	美容室	仕入先	(株)△△商事
開業動機・目的	専門学校時代から独立を意識しており、これまで準備を進めてきました。指名いただく固定客が多くなり、好条件のテナントが見つかったことから、開業を決意しました。				
開業に必要な知識、技術、ノウハウの習得	美容師として10年以上勤務しています。また、5年間の店長経験により、店舗運営のノウハウも習得しました。				
〔会社設立予定を含む〕 出 資 者 ・ 出 資 額	●●●● 5,000千円				
事業協力者の住所・氏名・勤務先	水戸市南町△丁目△△－△△ (株)□□□ ◎◎ ◎◎				

2. 創業準備の着手状況（税務申告1期以上終了している者は記入省略可）

下記の該当事項に○印を付けて下さい

全ての該当事項に○印を付けて下さい。

ア 設備機械器具等発注済である。

イ 土地・店舗を取得するための頭金等支払済みである。

ウ 土地・店舗を賃借するための権利金・敷金支払済みである。

エ 商品・原材料の仕入を行っている。

オ 事業に必要な許認可を受けている。

『カ』に該当する場合は、許認可取得見込みまで必ずご記載下さい。

カ 事業に必要な許認可取得未了（許認可取得見込み（申請状況や取得予定時期等）を具体的に記入してください。）

（ ）

キ その他（具体的に記入して下さい）

3. 必要な資金及び調達の方法（税務申告1期以上終了している者は記入省略可）

次の（1）又は（2）のいずれかにチェックのうえ、自己資金割合が満たしていることをご確認ください。

税務申告1期末終了の創業者のうち、会社設立済であり売上高の計上がある者は（1）又は（2）のどちらか

にチェックの上確認でも可。

☒ （1）税務申告1期末終了の創業者

必要な資金		金 額（千円未満切捨）	調達の方法		金 額（千円未満切捨）
設備資金	不動産取得費、内装工事費、敷金、入居保証金、機械設備、什器備品など（内訳）	8,000 千円	自己資金	普通預金	1,500 千円
				定期性預金	3,000 千円
				有価証券等	千円
	店舗内装工事：7,000千円			入居保証金等	千円
	設備機器：1,000千円			設備充当等	千円
				その他	千円
					千円
					千円
				小計（A）	4,500 千円
				親戚・知人等からの借入（内訳）	
運転資金	仕入資金、経費支払資金など（内訳）	2,500 千円	借入金等	親からの借入	1,000 千円
	広告宣伝費：1,500千円				千円
	消耗品費：1,000千円				千円
				金融機関からの借入（内訳）	
				■ 銀行	5,000 千円
					千円
					千円
					千円
					千円
				小計（B）	6,000 千円
合 計		10,500 千円	合 計（C）＝（A）＋（B）		10,500 千円
自己資金割合確認欄			（A）／（C）		0.4

※創業時の資金計画で自己資金割合を算出し、 $(A)/(C) \geq 1/10$ (0.1)

☐ （2）税務申告1期末終了の創業者のうち会社設立済であり売上高の計上がある者

自己資金割合確認欄	資本金（D）	千円
	借入金等（E）	千円
	（D）／（（D）＋（E））	

※申込時の試算表等で自己資金割合を算出し、 $(D)/((D)+(E)) \geq 1/10$ (0.1)

4. 収支計画(今後1年間分)

支 出		収 入	
仕 入 高	1,000 千円	売 上 高	10,500 千円
外 注 工 費	千円	工 賃 収 入	千円
人 件 費	5,500 千円	雑 収 入	千円
家 賃	千円		千円
そ の 他 費 用	2,500 千円		千円
利 益	1,500 千円		千円
計	10,500 千円	計	10,500 千円

支出計と収入計は同額になります。

5. 販売・仕入先

主な販売先・受注先	販売・受注 予定額	回収方法	主な仕入先・外注先	仕入 ・外注予定額	支払方法
一般	年 10,500千円	現金	(株)△△商事	年 1,000千円	現金
	年 千円			年 千円	
	年 千円			年 千円	

6. 借入金等状況(※)

借入先等	資金使途	借入残高	残 存 返済期間	年 間 返済額
× × ×	カーローン	360 千円	18 ヶ月	240 千円
住宅ローン、教育ローン等の非事業性借入についてもご記載下さい。		千円	ヶ月	千円
		千円	ヶ月	千円
		千円	ヶ月	千円
		千円	ヶ月	千円
		千円	ヶ月	千円

(※)現在負担している非事業性を含む借入金等で、今回の資金調達計画によるもの以外をご記入ください
(経営者本人が負担している保証債務も含まれます)。

7. その他(計画に関する補足説明がありましたらご記入してください)

・出店予定地は、現在指名いただいているお客様が通いやすく、かつ世帯数も増加しているエリアであることから、相応の集客を見込んでいます。
・「がんばる女性を輝かせるサロン」をコンセプトとして、30代から40代の仕事や育児に励む女性に、丁寧なカウンセリングとヘアケアマイスターとしての知識で、本来の美しさを提供します。
・収支計画の補足
売上高: 平均客単価7千円 × 5名(日) × 営業日数25日(月) × 12ヶ月 = 10,500千円
固定費: 役員報酬2名(本人・妻(アシスタント))5,500千円、家賃1,800千円
変動費: 仕入高●%、広告宣伝費●%、その他経費●%(現在の店舗の実績を参考に設定)